

森のようちえんさんぽみちにおける自然保育の実践

NPO 法人ネイチャーマジック（兵庫県）

<https://morinoyouchien-sanpomichi.jimdofree.com>

取組の目的・背景・沿革等

🌿 地域の環境や状況

兵庫県西宮市は人口 48 万人の都市である。瀬戸内海と六甲山に囲まれ、大阪に近い都市でありながら、身近に豊かな自然が残されている。活動場所である甲山エリアは環境省により「生物多様性保全上重要な里地里山」に指定されている。また、山間部には古くからの農家集落があり、自然と共に暮らす文化風習が残っている地域でもある。

🌿 取組の経緯・背景・理念等

始めは子どもたちの日常を自然の中に置く野外教育を目的にしていた。しかし活動を続けるにつれ、小さな園を中心に人と人、人と地域がつながりコミュニティが形成されてるようになった。今ではこのコミュニティそのものが“園”として機能し教育力を持つようになっている。子どもたちは自然環境だけでなく、自然とともに暮らす人と人のツナガリの中に身を置き、多くのことを学び育てている。そしてそこで「自分の人生を自分の足で歩く」力を身につけることが今の理念となっている。

取組の概要

🌿 取組の内容

森のようちえんさんぽみちでは森を園舎とし、子どもたちが毎日森に通う日常通園型の自然保育を行っている。森遊びの日、朝 9 時に登園してきた子どもたちはおはようの会の後、森へおさんぽに出掛ける。11 時過ぎ、行き着いた先でお弁当を食べ、午後はそこで森遊びをして過ごす。14 時にまたねの会をして降園する。水曜日は野外調理の日、金曜日は畑と表現活動の日になっており、持ち寄りの野菜でお味噌汁をつくったり、畑仕事をしたりする。自然のリズムで暮らすことを園生活にしており、歳時記に合わせた行事などを行っている。



🌿 施設や場の特徴、プログラムの特徴

活動場所は県立甲山森林公園とその周辺にある農園・キャンプ場などである。森林公園は自然がそのまま残されていながら、必要な整備がなされており、子どもたちが安心して活動できる場となっている。森遊びの日に自由を使いこなし、自立して創造的に遊ぶ子どもたちの姿は生き生きと輝いて見える。自然環境では日常的に生物の生死に直面し、いのちの存在を身近に感じることができる。また、自然という有機的な世界を実感することから、自分そのものを有機的な存在と認め、世界と自分がつなが

っているという意識へと変化していく。多様性の理解と自己肯定感の高まりをもって、自分の人生を自分の足で歩く子どもたちを育てていきたいと考えている。

実施体制について

幼児期の子どもの理解として幼稚園教諭免許・保育士資格を持つものがスタッフ全体の半数いる。自然体験・野外活動の知識・経験について、キャンプディレクター 1 級の指導者や日本アウトワードバウンド協会冒険教育指導者育成コース w-JALT 修了のスタッフがいる。内部では野外活動スキルや安全管理、自然の知識、子どもとの関わり方などを中心に、ミーティングや研修を行っている。

安全性への配慮

森のようちえん全国ネットワーク連盟による安全認証を受けている。また、メディックファーストエイドによる乳幼児の応急救護コースのインストラクターを務めるスタッフがおり、スタッフは全員このコースを終了している。活動場所である森林公園スタッフとも情報共有をし、子どもたちの安全確保に努めている。

地域機関・団体との連携

県立甲山森林公園との連携では、情報の共有や園内の整備などを行っていただいている。また、公園スタッフへの小児 MFA 救急法コースの提供を行い、当方のスタッフとのコミュニケーションを図り、緊急時の行動について確認している。また、甲山森林公園近隣にある甲山国有林について、兵庫森林管理署と遊々の森活動協定を結んでおり、ここでの森遊びも行っている。

取組による効果

子供・保護者への影響

子どもたちは自然の厳しさも優しさもそのままに受け入れる柔軟性を持ち、たくましく振る舞うようになっている。毎日を過ごす自然環境が、子どもたちの生活の一部になっていることを実感する。また、保護者の方々は園づくりを外側から支えるために様々な係グループをつくっており、横のつながりがとても深いと感じる。保育者だけでなく、みんなでみんなの子どもを育てているという感覚でいる。

地域社会への影響

森林公園では訪れる人たちにその存在を認められるようになり、「がんばってるね」など温かい声を掛けていただくようになった。また、農園ではおじいちゃん、おばあちゃんとの触れ合いが多く、こうしたつながりから味噌づくりを教えてもらったり、干し柿にする柿をいただいたり、餅つきの臼を借りたりしている。高齢者の方たちも「元気が出る」といって喜んでおり、子どもたちもつながりの中で生きていることを実感している。

取組を通じて全体的な所感

子どもたちが自然の中で自由に遊んでいる姿は本当に輝いて見える。しかし自由に振る舞うには責任が付きものである。子どもたちは一生懸命に自立し、他者と協調し、自然や集団を尊重する力を獲得している。その結果、こうして自由に遊んでいるからこそ、本当に輝いて見えるのだと思う。ここに自然という環境の持つ大きな教育力を感じている。